



■おたかどや山標準電波送信所

平成一二年六月一〇日より、全国に正確な標準時を発信するために独立行政法人通信総合研究所が都路村と川内村の境界の大鷹鳥谷山（おたかどややま）山頂付近に建設運用開始されました。ここから送られる周波数は、日本全国の電波時計や無線機器や計測装置などの基準となる周波数転正、天体観測の時刻記録や地震計の時刻合わせなど様々な時刻受信機器に利用されています。



■いわたの生息地「千翁川」

県道小野・富岡線の大根森地区から林道に入るところにある平伏沼の案内板の手前の川が千翁川です。いわたの多い川で、川沿いに道路が整備された箇所もあり、溪流釣りのポイント移動もスムーズに行えます。上流へ進むと二つに分かれますが、右が千翁川で左が平伏沼へと続きます。

■高原のいで湯

「かわうちの湯」

川内村役場から南東へ二〇〇mの距離にあります。アルカリ度が高く、肌がつるつるとなることから「美人の湯」ともいわれています。施設内の温泉種類も多々つるげる温泉施設です。



■OH湯といわたのまつり



■村花サラサドウダンの名所「高塚高原」

上川内の町分から木戸川沿いの県道富岡・大越線に入り、川内第三小学校方面へ向かいます。小学校入口の手前二〇〇m付近に「高塚高原入口」の大きな案内板があります。この案内板から約七kmで駐車場に着きます。道路は整備されていて勾配も比較的緩やかです。登山道の入口には、キャンプのための施設が整備され、緑の高原での野外活動の拠点にすることができます。

高塚高原はサラサドウダンをはじめ、アセビ、リョウブ、コヨウラクツツジ、アブラツツジなどの低木林でおわれています。初夏の山開きには、これらの花が山一面に咲き始めます。そして秋の紅葉は錦絵のような艶やかな山の姿を見ることが出来ます。これらの林の中は遊歩道が整備され、大きく二つのコースになっています。

頂上までは約三〇分のコースです。山頂には「ペラペラ石」をはじめ多くの巨石があります。ここからの眺めは三六〇度パノラマが体験できます。

阿武隈高地最高峰の大滝根山（二、一九三m）を西に見て、東に川内村が広がっています。

高塚高原には都会では味わえない本物の自然が残っていて、

初夏から秋を通じてたくさんの人たちが訪れこの景色を楽しんでいます。

